

企業人政治フォーラム速報 NO.11

Business People Political Forum(BPF) 1997年2月14日発信 発行：社団法人 経済団体連合会 社会本部 政治グループ TEL.03-3279-1411 FAX.03-5255-6233

会合案内特集

2 / 24(月)~25(火)

松下政経塾出身議員と語る～政治家の本懐とは

すでにご案内の通り、今般多くの政治家を輩出している松下政経塾出身の国会議員の方々をお招きし、企業人の方々と様々に意見を交わす会を開催します。懇談では、政治家を志すに至った経緯から、政治家生活の実情、政治課題に対する見解などを幅広く気軽に語っていただく予定です。奮ってご参加ください。

日時 1997年2月24日(月)~25日(火)
 場所 経団連ゲストハウス(御殿場)
 ご来賓 自由民主党 逢沢一郎氏
 自由民主党 河井克行氏
 新進党 笹木竜三氏
 新進党 樽床伸二氏
 民主党 前原誠司氏

プログラム(予定)
 2月24日(月)
 (1)夕食懇談会(午後6時30分~7時30分)
 (2)懇談会(午後7時30分~9時30分)
 第一部:キックオフスピーチ 逢沢一郎衆議院議員
 来賓によるパネルディスカッション
 第二部:来賓と参加者の自由討議
 2月25日(火)
 (1)朝食会(午前7時~8時)
 来賓スピーチ、意見交換
 (2)解散
 ご参加いただける方は、先にお送りした申込書にご記入の上、2月17日(月)までにご返送ください。

3 / 6(木)

関西シンポジウム～基調講演 後藤田正晴氏

このたび、関西地区の会員の方々の要望にお応えし、下記により関西シンポジウムを開催することにしました。シンポジウムでは、後藤田正晴氏(前衆議院議員、元副総理)を迎えての基調講演、並びにパネルディスカッションを予定しています。

近々ご案内いたしますので、多数の方のご参加をお願いします。

日時 1997年3月6日(木)午後2時~5時
 場所 ロイヤルホテル 2階 桐の間
 プログラム(予定)
 (1)基準講演
 テーマ 政治は復権するか
 講師 前衆議院議員(元副総理)後藤田正晴氏
 (2)パネルディスカッション
 テーマ 政治の活性化をいかに実現するか
 企業人は何をすべきか

2 / 18(火)

政局講演会 鷲尾悦也連合事務局長に聞く～これからの労組と政治のあり方

日時 1997年2月18日(火)
 午前8時~9時30分
 場所 経団連会館 12階
 ダイヤモンド・ルーム
 ご来賓 日本労働組合総連合会事務局長 鷲尾悦也氏
 参加費 無料

上記に関するお問い合わせ先 経団連・社会本部 政治グループ 田中・内田・石川 TEL.03-3279-1411 内線3636・3638

新人国会議員、かく考え、かく国政にいたれり【Vol. 4】

プロフィール	政策論点に対する各議員の賛否											立候補の動機	選挙戦を終えての感想	独自選挙公約			
	消費税率の引上げ	所得・住民税の引下げ	法人の税負担率引下げ	土地保有税率の引下げ	国会改革(立法機能拡充等)	小選挙区比例代表並立制の継続	内閣機能の強化	規制緩和	省庁再編	公共事業による景気拡大	首都機能の移転				持ち株会社の解禁	公的な社会福祉の拡大	日米の政治・安保関係の緊密化
竹本 直一(56) ・自民 / 大阪15区 「信頼できる政治」															世界に通ずる国民・国家の建設	自民党は組織をきちんと確立しなければならない。	夢の実現こそ政治です。(キャッチフレーズ)
能勢 和子(57) ・自民 / 中国ブロック 「誠意を示す・弱者の声に耳を傾ける」		x													・山積する看護諸問題を国政の場で整理したい。・有権者の半数を占める女性の声を国会へ	・投票率の低さが大変気になる。・投票率50%であるが、国民は正しい判断 自民党239議席確保	看護職員の教育の充実。質の高い看護は国民最大の願いと考える
安住 淳(34) ・民主 / 宮城5区 「一度始めたことは途中で投げない」											x				国会の立法機能を高め、アメリカ型の政治家を増やしたい。	新人には小選挙区はきつい選挙であった。	国会議員の70歳定年制の導入。
中村 鋭一(66) ・新進 / 大阪14区 「やはり民主主義が一番」	x					x					x				外野席の評論家であるより自ら打席にはいるべき。	・相手候補次第でずいぶん金がかかる ・重複立候補は廃止すべき	改革、前進、挑戦 すべてにおいて

各議員からの補足コメント

...賛成 x...反対 ...どちらとも言えない

竹本議員 財界がはつきりと私のような立場の者(官庁出身自民党)を支援してくれないと情熱がわいてこない。誰のための立候補かと考えなくもないほどだ。あまりにも中立的、非協力的
 安住議員 行政改革は、単に省庁の再編にとどまらず、我が国行政システムの抜本的改革、もっといえば、この国のあり方に関わることなので、財界側も政治に対してもっと注文や考えを言うべきだと思う。さらに私は、国民を納税者でなく公的サービスの消費者と考えて行政のスリム化に積極的に取り組みます。